

## 大阪公立大学医学部附属病院 集中治療センター (ICU/CCU)

### ■教室概要

大阪公立大学大学院医学研究科 集中治療医学は、心臓血管外科専門医の部長と、循環器内科専門医の私が副部長 ([写真 1](#))として 2022 年 4 月 1 日に誕生した新しい教室です。従来、救命救急医学が管理していた集中治療室(ICU)と循環器内科が管理していた心血管疾患集中治療室(CCU)、およびハイケアユニット(HCU)を統括して、管理・運用しています。病院 10 階に現在 10 床、最大 16 床まで増床可能な新たな集中治療センター (ICU/CCU)が開設され ([写真 2](#))、①高侵襲手術周術期患者、②院内重症患者、③Rapid Response Team (RRT)対応患者 ([写真 3](#))、およびコードブルー患者、④急性冠症候群(ACS)や急性心不全、大動脈解離を中心とした循環器救急疾患、⑤急性期脳卒中患者を各診療科が担当医となり集中治療科がサポートするセミクローズド形式で集中治療管理を行っています。

2026 年 4 月の時点で 7 名の集中治療科専従医 (重複専門医内訳：集中治療専門医 4 名、内科専門医 3 名、外科専門医 2 名、麻酔科専門医 2 名、救急科専門医 2 名、循環器専門医 1 名、心臓血管外科専門医 2 名)と各診療科の医師、看護師(専門/認定/特定看護師を含む)、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士などのコメディカルとともに、①速やかな急性・重症疾患の標準治療の提供、②医師間での診療レベルのばらつきを減らす、③医療安全を高める、④人工呼吸離脱や早期退室、早期栄養、早期リハビリなど患者の退室後の生活の質 (quality of life: QOL)や集中治療後症候群 (post intensive care syndrome: PICS)も考慮した効率的ベッドコントロール、⑤集中治療教育、および研究などを目指しています。また、集中治療センター内での積極的治療と終末期医療の線引きに関する問題も多職種カンファレンスにて検討し、患者や患者家族はもちろん、医療スタッフのケアにも努めています。

### ■診療について

集中治療室 (ICU) と心血管疾患集中治療室 (CCU) を統合した集中治療センター (ICU/CCU)は現在 10 床で運営しておりますが、今後最大 16 床まで増床可能です。これに 20 床のハイケアユニット(HCU)を統括して、管理・運用しています。これまで ICU と CCU は各診療科が管理していたため、一方のユニットが満床時にもう一方のユニットを使用することはできませんでした。このたび集中治療センターが集中治療科を中心に集約され、効率的にベッドコントロールが可能となりました。

当センターでは、心臓血管外科による開心術やダビンチによる Robotic surgery 術後、循環器内科による TAVI や MitraClip®術後のみならず、ACS や急性心不全、致死性不整脈、大動脈解離などの循環器系急性疾患を管理しています。当循環器内科は地域医療機関から直接緊急紹介をうけるサポートコールや救急隊が ACS を疑う場合に直接循環器内科に電話できる ACS コールを 24 時間 365 日受け付けています。循環器系疾患の治療には、薬剤のみならず IABP、Impella、VA および VV-ECMO などの機械的循環補助 (mechanical circulatory support: MCS) が必要です。当センターは心臓血管外科医と循環器内科医で立

ち上げた経緯より、心臓血管外科と循環器内科、集中治療科が垣根なく、常に意見交換しながらチーム医療を実践しております ([写真4](#))。

#### ■循環器集中治療医を目指す医師へ

私は28年間循環器内科医として、主に虚血性心疾患に対するPCIを実施してきたことはもちろんですが、研究テーマとしてIVUSやOCTなどの血管内イメージング、および冠動脈CTや心臓MRIなどの心臓イメージングを長年行ってきました。そのため当集中治療センターに入室される循環器系急性疾患を管理するにあたり、集中治療の根幹である「循環と呼吸」の管理はもちろん、その病態に深く踏み込んだ循環器専門医の思考過程を習得したいと思う向上心あふれる医師が多く集まることを期待しております。

当施設では、

1. 集中治療専門医を含めた様々な専門医で構成される集中治療チームですので、内科の考え方以外に、救急救命、麻酔科、外科、また各診療科の視点で治療の最適化を目指すことができます。
2. 看護師（専門/認定/特定看護師を含む）、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士などの医療専門職との関係性も深く、各専門家と意見を交えながらICU入室中、および退室後の患者の生活の質も意識したPICS予防を学ぶことができます([写真5](#))。
3. 循環器内科、心臓血管外科とともにそれぞれの考え方をディスカッションしながらお互いを高めあう環境にあります。
4. 当大学病院では循環器系急性期管理として、補助人工心臓（ventricular assist device: VAD）、心臓移植以外はすべて実施可能です。

患者、および患者家族はもちろん、院内のすべてのスタッフの安心・安全を実現できるよう、われわれの集中治療センターと一緒に働き、盛り上げ、最高のチーム作りに加わっていただける皆さんを歓迎しております。

#### ■連絡先

〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町1-4-3

TEL: 06-6645-3993

担当：大阪公立大学大学院医学研究科 集中治療医学講座

江原省一 Ehara Shoichi

e-mail: [ehara@omu.ac.jp](mailto:ehara@omu.ac.jp)

病院HPへのリンク: <https://www.omu.ac.jp/med/intensivecare/>

■ 写真



【写真1】 心臓血管外科出身の部長(写真左)と循環器内科出身の私(写真右)



【写真2】 Semi-closed ICU/CCU 集中治療センター



【写真3】 RRT 活動の一環としての Critical Care Outreach Team



【写真4】 多職種モーニングカンファレンス



【写真5】 臨床工学技士による研修医教育

■循環器関連集中治療科実績

- 1) Effectiveness of contrast-enhanced CT venography 3D reconstruction for emergency surgery in non-occlusive mesenteric ischemia: a case report. *Surg Case Rep* 2026;12(1):25-0747.
- 2) Magnetic resonance direct thrombus imaging to distinguish acute pulmonary embolism from chronic thromboembolic pulmonary hypertension: a case report. *Eur Heart J Case Rep* 2025;9(11):yaf555.
- 3) Quantification of pulmonary perfusion using LSIM-CT correlates with pulmonary hemodynamics in patients with CTEPD. *Front Cardiovasc Med* 2023;10:1237296.
- 4) A case of hypertrophic cardiomyopathy with right ventricular outflow tract and left midventricular obstruction. *J Cardiol Cases* 2022;26(1):66-69.
- 5) Artificial intelligence-based detection of atrial fibrillation from chest radiographs. *Eur Radiol* 2022;32(9):5890-5897.
- 6) Angioscopic ulcerated plaques in the femoropopliteal artery associated with impaired infrapopliteal runoff. *J Vasc Interv Radiol* 2022;33(2):97-103.e1.
- 7) Kihon checklist is useful for predicting outcomes in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. *J Cardiol* 2022;79(2):299-305.
- 8) Acute pulmonary embolism with high-intensity signals on magnetic resonance direct thrombus imaging. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging* 2021;22(11):e159.
- 9) 頻回に行われた血行再建術後の重症虚血再灌流障害から救肢し得た1例、大

阪市医学会雑誌, 2023;72:15-19.